

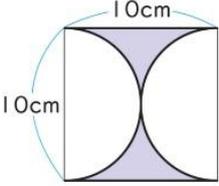
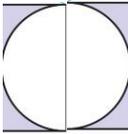
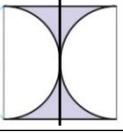
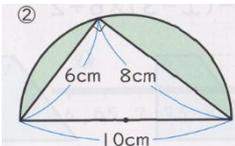
授業日：令和6年5月30日(木)5校時  
 場所：6年1組教室(TT)  
 授業者：

1 単元名「円の面積」

2 本時について

(1) 本時のねらい：複合図形の面積を求める活動を通して、複合図形が求積可能な図形の組み合わせであることに気づき、円の面積と関連付けながら、図形を分けたり引いたりする考え方で、面積を求めることができる。

(2) 本時の展開 (4/6)

段階	学習活動（児童の活動の言葉で書く）	研究の具体的方途
つかむ	<p>1 問題をつかむ</p> <p>◆前時に学習した、円の面積の求め方を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">色のついた部分の面積を求めよう。</div>  <ul style="list-style-type: none"> <li>正方形で囲まれている、半径以外の面積を求める。</li> <li>前時は円の中の面積を求めたけど、今回は複雑な形の部分の面積の求め方を考える。</li> </ul>	<p>・前時の振り返りを行うことで、円の面積の公式を想起させる。</p> <p><b>【研究内容1】</b></p> <p>②問題解決のための手立ての工夫              一人一人に確かな考えをもたせるための視覚化</p> <p>・ICTの活用              問題を把握するときにICTを活用し、複雑な形が、どのような図形で構成されているのかを確認することで、面積を求める方法の見通しをもたせる。</p> <p>・ヒントコーナーの設置              面積を求める方法の見通しがもてない児童に実際に円をかいたり切ったりするなど、操作できる場を設けることで、面積を求める方法の見通しをもたせる。</p>
考えをもつ	<p>2 課題づくりをする</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">複雑な形の図形の面積の求め方を考えよう。</div> <p>◆問題の形はどのような形になっているのか言葉で説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>正方形の中に、半円が2つある形。</li> <li>半径が5cmの2つの半円以外の部分の面積を求める。</li> </ul> <p>3 自分の考えをもつ</p> <p>①半円を合わせて円にし、正方形から引く方法</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>■<math>10 \times 10 = 100</math></p> <p>○<math>5 \times 5 \times 3.14 = 78.5</math></p> <p><math>100 - 78.5 = 21.5</math></p> </div>  <p>②正方形から半円を2個引く方法</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>■<math>10 \times 10 = 100</math></p> <p>半<math>5 \times 5 \times 3.14 \div 2 = 39.25</math></p> <p><math>100 - 39.25 - 39.25 = 21.5</math></p> </div> <p>③縦半分補助線を引いて引く方法</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>■<math>10 \times 5 = 50</math></p> <p>半<math>5 \times 5 \times 3.14 \div 2 = 39.25</math></p> <p><math>50 - 39.25 = 10.75</math></p> <p><math>10.75 \times 2 = 21.5</math></p> </div> 	<p><b>【研究内容2】</b></p> <p>③伝え合う活動を充実させるための手立ての工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを分かりやすく説明したり、互いに伝え合ったりするためのキーワードの明確化。</li> </ul> <p>②考えを深め合う活動の位置付け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ペア交流を通して、根拠を明確にして、ペアの相手に分かりやすく説明することができるようにする。</li> </ul>
考えを深める	<p>4 考えを交流する</p> <p>◆ノートにまとめた求め方を2人～3人ペアで交流する。</p> <p>◆発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>キーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正方形</li> <li>・半円</li> <li>・半径</li> </ul> </div>	<p><b>【研究内容2】</b></p> <p>③伝え合う活動を充実させるための手立ての工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを分かりやすく説明したり、互いに伝え合ったりするためのキーワードの明確化。</li> </ul> <p>②考えを深め合う活動の位置付け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ペア交流を通して、根拠を明確にして、ペアの相手に分かりやすく説明することができるようにする。</li> </ul>
考えをたしかにする	<p>5 まとめをする</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">複雑な形の図形も、これまでに学習した形の組み合わせとしてみると、面積を求めることができる。</div> <p>6 評価問題をする。</p>  <p>7 練習問題をする。</p> <p>◆終わった人からプリントの問題を解く。</p>	<p><b>＜評価規準＞</b></p> <p>複合図形が既習図形の組み合わせであることを考え、面積の求め方を説明している。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <p><b>＜発言・ノート＞</b></p> <p>A: 2つ以上の求め方を説明することができる。</p> <p>B: 1つの求め方を説明することができる。</p> <p>C: 求め方を説明することができない。</p>